

設置目的

一 本校は實際商業に適當なる学課を教授する為めに設く

名称及位置

一 神田錦町二丁目二番地三菱商業学校

(抹消)
学〔校〕課程云々

一 甲号表に記載す

学期授業時限及日限

一 修業期限一ヶ年とす

一 授業時間は毎日四時間とす

生徒定員及入学生徒の学力

一 生徒に定員無し

一 入学生徒の学力は小学校卒業及右に合格する者に限る

試験及休日

一 定期試験 三月七月十二月の三期とす

一 冬期休業は十二月廿六日より一月七日に至る十三日間とス春

期休業は四月一日より同七日に至る七日間とし夏期休業は七

月廿六日より九月五日に至る四十二日間とす其他日曜日第一

第三土曜日及ヒ大祭とす

入学及退学寄宿舎規則

一 入学する者は証人を立て身元引受の証書を差出さしむ

一 退学之者は証人より届書を差出さしむ

一 寄宿舎規則左に

一 入塾するものは塾費金二拾五銭を毎月差出さしむ

一 賄料は物価の高低ニ因ルト雖モ凡ソ金壹円を標準トス

57 三菱商業学校学科・規則開申（明治十六年五月）

明治十六年五月廿九日 日受

六等属埴原和三郎(印)

知事 書記官(伊藤印) 学務課(長倉印)(東条印)

私立三菱商業学校従前之開申書別紙之通差出候ニ付取調候処不都合之廉モ無之被存候間乃供一覽候也

東京府甲第五十号御布達ニ基キ別冊ノ通り調査差出申候也

神田区錦町二丁目二番地

三菱商業学校

明治十五年七月

桂 敬義(印)

神田区学務委員

沼間守一(印)

東京府知事 芳川顯正殿

前書開申ニ付奥印候也

神田区长 沢 簡徳(印)

一 欠課七日以上に至ルモノハ退塾セシム

一 外出ハ十一時ヲ限リ寝に就ク片ハ点灯ヲ禁ス

一 教員学力職務心得及其人員俸額

一 教員学力 三菱商業学校旧正科英書卒業ノ者

一 職務心得 教員ハ生徒教授及試験法を負担シテ其優劣を視て

等級を上下ス

一 其人員俸額 月給三拾円壹人拾五円三人合四人

生徒訓戒及破毀物償還規則

一 生徒訓戒 普通道徳ニ従フ

一 破毀物云々 相当之償金ヲ納レシム

敷地建物

一 敷地 八百拾八坪

一 建物 三百六十五坪五合

授業料

一 壹ヶ月金五拾銭

経費収入支出

一 収入 生徒ノ出入に依リ定メナシト雖モ凡ソ壹ヶ月金四拾

円

一 経費 貳拾円 炭油筆墨紙ノ類

一 支出 百五十三円 月給賄料ノ類

甲号

通計	読書	算術	簿記学	学 科	
				各学期	第一 第二 第三
廿四時間	六時間	六時間	十二時間	各学期毎週教授日数	第一期 三ヶ月間 教授日数 八十二日
学科三	講読 暗記応答	加減乗除	普通記入 法問答	同	第二期 四ヶ月間 百九日
"	"	"	"	同	第三期 四ヶ月間
同	同	百分算ヨリ利息算	原理ノ作 用ヲ適用 セシム	同	百十一日
"	"	"	"	同	
同	書中ノ大要ヲ抄問シテ之ニ 対ヘシム	平均算ヨリ 組合商 結算法	帳簿ヲ作 ラシム	同	

乙号

簿記学科之部			
書名	卷冊	出版年月	著者氏名
簿記学階梯	上下	十一年十月出版	深川安宅町 著者氏名
簿記学例題	壹冊	十二年十月出版	森嶋修太郎 著
簿記法			同
算術ノ部			
書名	卷冊	出版年月	著者氏名
商用算術	五冊	十一年九月出版	藤堂景泰 著者氏名
譯者氏名			
藤堂景泰 譯			

一五四

筆算題叢	十四冊	十二年十二月出版	静岡県西草深町百番地
同 答 式	同	同	山 本 正 至 著
商業算術書	壹冊		ブライアンド氏
読 書 ノ 部			
書 名	卷 冊	出版年月	訳 著 者 氏 名
交易通史	四 冊	五年十月刊行	杉 亨 二 訳
増補 改正 理財原論	壹 冊	十三年四月再版	牛込区市ケ谷三丁目十九番地 川 本 清 一 訳
商 法 律	壹 冊		ブライアンド氏

(付箋)

「明治十七年五月二十八日」

〔明治十六年 私立各種学校書類 学務課〕

613 C 3